



2021年10月26日

各 位

会 社 名 新光電気工業株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 倉 嶋 進
 コード番号 6967 東証第1部
 問 合 せ 先 経営企画室長 清 野 貴 博
 TEL(026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 時 田 隆 仁
 コード番号 6702 東証、名証各第1部

業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (2021年7月29日発表)	242,000	40,600	39,500	26,900	199.13
今 回 修 正 予 想 (B)	264,200	59,400	61,400	42,400	313.86
増 減 額 (B-A)	22,200	18,800	21,900	15,500	—
増 減 率 (%)	9.2	46.3	55.4	57.6	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	188,059	23,328	26,507	18,018	133.38

2. 修正の理由

半導体市場は、社会・経済におけるデジタル化の急速な進展等による半導体需要の拡大が続いており、引き続き好調に推移することが見込まれます。

2022年3月期第2四半期連結累計期間における当社業績は、フリップチップタイプパッケージ等が好調に推移したことなどにより想定を上回る売上・収益となりました。

また、第3四半期以降、7月時点においては製品構成の変化などを背景にフリップチップタイプパッケージの売上減少を想定しておりましたが、旺盛な需要が継続し、パソコン向け、サーバー向けの売上はともに想定を上回るが見込まれます。加えて、半導体製造装置向けセラミック静電チャックは半導体市場の拡大を背景に需要がさらに増加し、IC組立はハイエンドスマートフォン向けに受注増となるなど、各製品の売上増加が見込まれます。

これらにより、売上・収益ともに想定を上回ることが予想され、高付加価値製品をはじめとする売上増加による収益性の向上や、為替相場が円安傾向で推移していることなどにより、特に収益面において想定を大きく上回ることが予想されます。

このような状況をふまえ、2021年7月29日に発表いたしました2022年3月期通期の連結業績予想数値を修正いたします。

通期業績予想の前提となる第3四半期以降の為替レートを1米ドル=105円から108円に変更しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上